

令和 4 年度

事業計画書

公益財団法人 板橋区文化・国際交流財団

令和4年度 事業計画 概要

令和4年度事業計画では、新たに策定した「経営計画2025」に基づいて事業を実施するとともに、令和5年度からの文化会館・グリーンホールの指定管理者受託に向けて計画的に準備を進めていきます。

I 財団経営の理念・方針・目標（経営計画2025より）

（1）経営理念

「文化と国際交流の力で 板橋を元気に」

（2）経営方針

【文化芸術振興 基本方針】

地域に息づく様々な活動が活発に行われ、身近に感じ心豊かになる
板橋の文化芸術

【国際交流・多文化共生推進 基本方針】

言葉や文化の違いを認め、支えあい共に生きる 板橋の国際交流・
多文化共生

（3）目標

① 重点目標

- ・板橋の特色ある文化芸術 × 魅力の創造・発信
- ・文化芸術・国際交流 × 活動・活躍の場
- ・情操教育・多文化共生 × 次代を担う子どもたち

② 個別戦略目標

【文化芸術振興分野】

- ・板橋らしい個性あふれる地域文化の創造支援
- ・誰もが文化芸術を楽しみ、参加できる環境づくり
- ・文化芸術へいざなう機会の充実

【国際交流・多文化共生推進分野】

- ・日常的なコミュニケーションの支援
- ・外国人も暮らしやすい生活環境整備
- ・多文化理解の促進と国際人材の育成を推進

II 事業概要

【令和4年度事業数（令和3年度事業数）】

★：新規事業 ◎：改善・充実事業

1 文化事業

令和4年度は、上半期に文化会館の特定天井補強工事が予定されているため、可能な限り時期・会場を移して事業を実施します。

(1) 区民参加型事業（21,422千円） 【10事業（11事業）】 経営戦略1.2

地域特性を活かした区民主体の文化芸術活動を重点的に振興するため、区民参加型事業を行います。

【区民主体の質の高い音楽文化の振興】

- ・板橋区混声合唱団、板橋区吹奏楽団の定期演奏会は、文化会館の天井工事と開催時期が重なるため、近隣の区外施設で実施します。

板橋区混声合唱団定期演奏会 7月9日（土）練馬文化センター

板橋区吹奏楽団定期演奏会 7月3日（日）和光市民文化センター

- ・板橋第九演奏会は、2年連続で区民合唱団の登壇が叶わなかったため、令和4年度は合唱団の規模縮小など対策を講じて実施します。

【次世代の育成】

- ・子供を対象として、習い事はじめ（和太鼓講習会）、青少年吹奏楽教室、演劇ワークショップ、区民参加ミュージカルを行います。

◎区民文化講座Ⅱは、区内の「劇団銅鑼」の監修による演劇ワークショップが好評だったため、日数を1日から3日に増やして実施します。

- ・区民参加型ミュージカルでは「青い鳥」の公演を行います。

【区民の文化活動の発表の場】

- ・例年、参加団体から好評を博している「ふれあいステージ」は、特定天井工事と開催時期が重なることから、中止とします。

【新進演奏家支援】

- ・若手音楽家を支援する「板橋クラシックオーディション」「新進音楽家フレッシュコンサート」は、下半期に開催時期を移して実施します。

【区民オペラの振興】

- ・区民がオペラに親しみ公演に参加する機会とする「区民文化講座Ⅰ」は、下半期に開催時期を移して実施します。

【短歌、俳句、川柳の振興】

- ・区民文芸の振興のため、区民投稿と選評を「広報いたばし」を通じて年6回行います。

(2) アウトリーチ事業 (2,544千円)

【アウトリーチ16回 (16回)、ロビーコンサート12回 (12回)】経営戦略2.3

【学校等へのアウトリーチ】

- ・次世代を育成するとともに、専門家の質の高い芸術を届けるため小学校や福祉施設へアウトリーチを行います。
- ◎音楽演奏や落語鑑賞のみならず、派遣先のニーズにマッチングした事業が行えるよう、メニューの拡充を検討します。

【ロビーコンサート】

- ・ロビーコンサートは、普段会館へ足を運ばない区民へ文化芸術を提供し、文化会館の存在や財団の活動を知ってもらう機会にします。
- ・「アーティストバンクいたばし」登録団体の出演の機会を確保します。

(3) 文化の提供事業 (主催事業) (6,975千円)

【主催公演3事業 (6事業)】経営戦略1.2

区内の実力ある芸術家による公演、並びに次世代の育成に寄与する低廉で気軽に楽しめる優れた主催公演をおこないます。

【「落語のまち板橋」の取組】

- ・特定天井工事の影響により、区内在住で若手の噺家による「板橋落語会」は年2回、板橋名人寄席は年1回に回数を減らして実施します。

【次世代育成と子育て支援】

- ・「劇団四季」による質の高いファミリーミュージカルを行います。

【区内の優れた芸術家による公演】

- ・板橋育ちで世界的に活躍する「佐野優子ピアノリサイタル」は、特定天井工事と開催時期が重なるため、次年度に実施します。

(4) 文化の提供事業（共催事業）（6,861千円）

【共催公演 19 事業（21 事業）】 経営戦略 1.2

区内の文化芸術の担い手が行う公演の普及支援、区民が良質な公演を低廉な料金で鑑賞する機会の提供、区や教育委員会等と連携して様々な共催公演を行います。

【区民主体の最大の文化祭典】

- ・区民文化祭は、区民が主体となる区内最大の文化芸術活動の発表と普及の場となっており、文化芸術月間の2か月にわたり区・文化団体連合会と共催し支援します。

【区や教育委員会と共催】

- ・中学校連合学芸大会、板橋音楽祭ジュニア、i-youthダンスフェスタ、赤塚城戦国絵巻武者行列、板橋の芸能を共催し、青少年の健全育成と伝統芸能の継承を図ります。
- ・金沢市都市交流の一環としてジュニアジャズ交流ライブを行います。

【地域貢献団体や国との共催】

- ・わんぱく相撲、音楽の絵本コンサート、陸上自衛隊コンサート、リリックふれあいコンサートを共催します。

【芸術文化の普及に寄与する公演】

- ・童謡祭は、成増アクトホールに会場を移して実施します。
- ・観客参加型の歌声コンサートは、昭和歌謡を客席で「聴いて楽しむ」内容の「歌声カルテット」「歌声男子」にリニューアルして実施します。
- ・「しまじろう」コンサートは、天井工事に伴い中止します。

【区内の実演芸術の支援と普及】

- ・板橋区演奏家協会によるオペラ公演やライブラリーコンサートは、下半期に開催時期を移して実施します。
- ・ジュニアオーケストラを目指す「板橋ジュニア管弦楽合奏団」の演奏会を共催します。演奏会に向け、弦楽の合奏体験講座を実施します。
- ・シェークスピア全戯曲を公演した板橋演劇センターの公演を共催します。
- ・バリアフリー観劇サポートを工夫している劇団ふあんハウス公演を共催します。

★2022年の日蒙国交樹立50周年に合わせて、モンゴル国立馬頭琴交響楽団による馬頭琴コンサートを区と共催で実施します。

(5) 文化の支援、育成、援助及び顕彰事業（1,550千円）

【2事業（2事業）】経営戦略1

- ・文化芸術とスポーツ文化の振興を図るために、区内で活動する個人や団体の活動に対する支援や助成を行うとともに、顕著な成果に対して顕彰をします。
- ・顕彰の副賞として、板橋区伝統工芸保存会の工芸士らが制作する記念品を贈呈し、特色ある伝統工芸の普及にも寄与します。

(6) 広報（7,490千円）【3事業（3事業）】経営戦略3

多様な文化芸術情報の収集・発信のため、財団の文化・国際交流事業の情報や、文化会館での公演、地域の文化活動事例の紹介を掲載した情報誌の発行等を行います。

- ◎隔月で発行している財団情報誌「ふれあい」は、若年世代に手にとってもらえるよう、デザインや持ち運びやすさ等も含め、紙面を見直します。
- ◎文化会館指定管理者受託に向け、文化芸術活動の拠点として広く区民へ文化芸術の情報発信できるよう、戦略的な広報を行います。

2 国際交流事業

地域の国際交流や国際理解を促進し、多文化共生の地域づくりに寄与します。

(1) 国際交流事業（4,309千円）【11事業（11事業）】経営戦略4.5.6

ボランティアと連携・協力して国際交流や国際理解を推進する様々な事業を着実に実施します。

【コミュニケーション支援】

- ・日本語教室は、感染症の状況によりオンラインも活用しながら学習支援を継続します。
- ・日本語教室で活動するボランティアの養成講座を実施し、内容をより

充実させるとともに受講しやすい環境を作り、多文化共生社会を推進する人づくりを行います。

- ・在住外国人と日本人が交流し相互理解をするため、日本語スピーチ大会を行います。
- ★やさしい日本語の普及啓発に取り組み、窓口対応や情報発信など様々な場面での活用を推進します。

【生活支援】

- ◎在住外国人が生活する中での困りごとを気軽に相談できる体制を構築します。
- ・外国人の相談を受けるため弁護士や行政書士等の専門家による相談会を実施します。
- ・災害時に支援できるよう防災語学ボランティアを養成します。

【国際交流・理解、多文化紹介】

- ★区内在住等の外国人を多文化共生推進いたばし大使に任命し、区の魅力発信やイベント等の参加を通じて区民レベルの国際交流や多文化共生の推進を図ります。
- ・外国人留学生が区内の家庭生活を体験し交流するため、ホームビジットを行います。
- ・子どもの国際理解を進めるため小学校等に外国人ボランティア講師やJICAの講師等を派遣し国際理解教育を行います。
- ・外国人のための日本舞踊講座を行うほか、ボランティア団体とともに地域での国際交流と文化紹介を行います。

(2) 姉妹・友好都市提携に基づく事業 (1,137千円)

【5事業 (5事業)】 経営戦略6

- ・区が姉妹都市提携等を締結する交流都市との区民レベルの交流を推進するため、各種交流事業を実施します。
- ★中国北京市石景山区との友好交流都市提携25周年を記念し、交流事業や文化講座等を行い、区民が中国に親しみを感じ、交流することをめざします。

(3) 助成事業（日本語教室、国際交流事業）（800千円） 経営戦略6

- ・区民レベルでの多文化共生活動を促進するため、日本語教室や国際交流事業を実施する地域団体を助成します。

(4) 広報（471千円） 経営戦略4

- ・区政や生活情報、国際交流イベント等を掲載した情報誌「アイシェフ・ボード」をルビ付日本語・英語・中国語・韓国語の4か国語併記で発行し、外国人に情報発信します。

3 区からの受託事業【1事業（3事業）】 経営戦略4

板橋区から受託して、外国人が日常生活に必要な情報提供や、行政機関への申請・届出等の生活支援を行います。

(1) 通訳・翻訳（1,053千円）

- ・外国人が行政手続き等を安心して確実に行うことができるようにするため、窓口等での通訳や申請書等の翻訳を行います。外国人来庁者が多い窓口では、電話による通訳を行います。

Ⅲ 文化会館・グリーンホールの指定管理者を担うための組織改革

令和5年度より財団が文化会館・グリーンホールの指定管理を受託するための準備を進めるとともに、財団の継続性と専門性を高める組織の改革・強化を推進します。令和4年度は以下の取組を実施していきます。

(1) 固有職員採用（10,614千円）

組織強化の一環で、固有職員を段階的に採用します。令和5年度採用に向けて幅広い求人活動を行います。

(2) ホームページリニューアル（7,359千円）

現在財団が運営している財団ホームページと、指定管理者が運営している文化会館ホームページを令和5年度より統合します。これにより、文化会館・グリーンホールで行うイベントを統一的に発信することが可能となります。令和4年度中にリニューアル作業を行います。

(3) 会館パンフレットのリニューアル (3,100千円)

文化会館・グリーンホールの発信力を高めるため、会館パンフレット等のリニューアルを行います。令和4年度中に作成し、令和5年度以降配布します。

(4) 文化会館・グリーンホールの館内レイアウトリニューアル準備

令和5年度の施設活用事業（大ホールロビー等の開放）実施に合わせて、文化会館・グリーンホールの館内レイアウトのリニューアルを行います。令和4年度中にレイアウトを検討し、必要な準備を行います。

(5) ICT環境整備 (7,151千円)

組織強化の一環で、以下のとおりICT環境を令和4年度中に整備します。

- ① 財団専用端末の整備
- ② テレワーク環境の整備
- ③ セキュリティ確保
- ④ 文書システム導入
- ⑤ 人事システム導入